

医学系研究科(博士前期課程)

教育課程の構成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

福井大学大学院医学系研究科博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成の方針

高度な研究能力と看護実践能力を有し、自律して看護学研究や教育、看護実践を遂行できる研究者・教育者・看護実践者を育成するため、看護学分野に研究コースと高度実践コースを設け、以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

2. カリキュラム編成

CP1) 国際的な視野と科学的な分析能力を身に付け、自己の専門分野と他の専門分野・学問領域との関連を理解しながら、地域で生じる多様な看護課題を自ら探求し、解決に導く能力を養う。

CP2) 研究コースでは、自己研鑽能力を高めつつ、論理的・批判的思考に基づく研究計画・実行、意見交換、成果報告に必要な能力を養う。

CP3) 高度実践コースでは、看護学の知識・技術を活用して対象者の治療・療養・生活過程全般を統合・管理し、高度な看護ケアを提供する能力、および実践、教育、相談、研究、調整、倫理という6つの能力を駆使し、看護活動を創意工夫して変革する能力を養う。

3. 学修評価

研究・学修成果の評価は、「福井大学における多面的かつ厳格な成績評価のガイドライン」に基づき評価を行う。

共通科目、専門科目、専門看護師教育科目の評価にあたっては、以下の各観点を重視する。

- 1) 国際的な視野と科学的な分析能力を身に付け、看護学と他の専門分野との関連を理解した上で、地域で生じる多様な看護課題を自ら探求し、解決に導く能力を習得しているか。
- 2) 研究コースでは、論理的・批判的思考に基づく研究計画・実行、意見交換、成果報告に必要な能力を習得しているか。
- 3) 高度実践コースでは、看護対象者の治療・療養・生活過程全般を統合・管理し、高度な看護ケアを提供する能力、および実践、教育、相談、研究、調整、倫理という6つの能力を駆使し、看護活動を変革する能力を習得しているか。

博士前期課程で実施する教育をより良いものとしていくため、随時、研究成果について多角的・総合的評価と検証を行い、継続的な改善に努める。

4. 学位論文審査

学位論文の審査は学位審査基準に従い、論文内容の信頼性及び発展性等の観点から厳格に審査する。